

# 鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかななたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会  
(通巻第99号)

<http://www.ytnet.or.jp/ykd/>  
E-mail:yatsushiro\_kkd@yahoo.co.jp



## 新年の御挨拶

平成20年度 八代経済開発同友会

第45代 代表幹事 中村重之

平成21年新春を迎え、会員の皆様方に謹んでお慶び申し上げます。

また、平素よりご支援ご協力頂いております各種団体の皆様方には厚く御礼申し上げますと共に、本年も尚一層の御厚誼を賜りますよう、よろしく御願い申し上げます。

さて、平成20年を振り返りますと、100年に一度といわれるアメリカより端を発した世界経済の不況（1929年の世界大恐慌の再来か?）。当然のことながら日本経済をゆるがす事態になっていることは御承知のとおりでございます。

金融機関の貸し渋り等、私達地方の経済にも多大な影響を及ぼしており、倒産件数も前年を上廻っております。このような中で政府もようやく年末になって中小企業対策、金融支援に乗り出したことは、渡りに舟と喜ばしい次第であると思っておりますが、これらによって業種間格差や地域間格差が直ちに解消するとは思えません。

八代地域も新幹線全線開通を控え、新駅周辺開発、中心市街地活性化、日奈久温泉開湯600年等、課題も山積しています。私達会員は一致団結して、行政や各種団体とタイアップして八代の経済がこれ以下に落ち込まないように頑張らねばならないと思っております。

さて本会は、平成20年度で45周年を迎えまして、ささやかではございますが各種の周年事業を成功させることが出来たことに会員や幹事の皆様方の御支援・御協力の賜物と深く感謝の意を表します。

残された期間にラストスパートをかけ、四月より吉住一郎次年度代表幹事にバトンタッチできるよう御支援を御願い申し上げます。21年が本会にとりまして飛躍の年となりますように、又会員企業の益々の御繁栄と御健勝を祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。



# 創立45周年記念事業を終えて

45周年記念事業実行委員長

委員長 竹 永 鴻

平成20年度総会に於いて中村代表幹事から創立45周年記念事業実行委員長をおおせつかり、1年間働かせて頂きました。

早速、準備に取りかかり実行委員を選考し、第1回目の実行委員会を6月12日に開催して事業計画を協議、検討しました。

まずは、組織図を作成、併せて事業内容を協議し各事業の部会長及び委員長、そして各委員による実務内訳を決定して頂きました。

中村代表幹事の就任挨拶にありました『温故知新 ふるさと再発見、発信八代』の中で「観光立国」熊本の蒲島郁夫知事の構想に沿って、八代の観光資源の開発活用も考え、地域経済の浮揚につなげていく活動を推進していくとの挨拶を踏まえて、私たち同友会は、創立45周年記念事業として歴史と文化のある城下町の八代市街地を中心に地域活性化を進め、経済浮揚を考慮しながらメイン事業として、築城400年を迎える八代城を記念するPR看板設置事業を決定し、12月20日(土)の除幕式に坂田八代市長、増田教育長、竹原八代宮司他、多数のご来賓及び会員に参加頂き八代宮参道の大鳥居横に設置することが出来ました。又、記念事業の一つとして、12月15日(月)記念講演会「だから日本は面白い」の演題で拓殖大学教授の呉善花氏に八代ハーモニーホールにて講演を頂き、180名の会員及び市民の皆様には大好評を得ました。

それと、ビジョン委員会にはこれからの同友会の方向性の改良を含め、中長期ビジョンの検討及び作成に奮闘して頂き継続事業として今後に残しました。

最後の記念事業として伝統ある経友会の記念コンペを12月23日(火・天皇誕生日)八代ゴルフクラブに40名の参加で盛会に開催されました。

夜は、八代ロイヤルホテルに於いて記念事業懇親会を開催し、金子国土交通副大臣、坂田八代市長、安倍地域振興局長、大久保熊本経済同友会代表幹事らのご祝辞を頂き、又、市選出の各県議、八代市議、関係各位の来賓の出席を頂いて盛会に終わりました。

記念事業実行委員会及び会員の皆様そして、関係各位にあらためてお礼申しあげる次第です。



坂田市長と来賓の皆様で除幕式



看板全景

## 45周年記念講演

と き：平成20年12月15日(月)

ところ：やつしろハーモニーホール（3F）

講 師：呉 善 花 氏（拓殖大学国際開発部教授）

演 題：「だから日本は面白い」

アメリカ経済の行き詰まりによる不況が世界を揺るがしている中、日本人のもつバランス感覚が、これからの世界の主流になるのではないのでしょうか。

又、世界経済の動きが、私達の暮らしを左右する世の中で、地方に住む私達はどんな暮らしをしていくのか。日本国に自信と誇りを持ち、もっと「日本人らしい」を見つめたバランスのとれた地域ができれば良いと願っています。



### 講師プロフィール

1956年韓国済州島生まれ。4年間志願で女子軍隊体験をする。

'83年来日、大東文化大学（英語学）の留学生となる。その後、日本で日韓ビジネスマンの通訳や日本語・韓国語の教室を開設。東京外国語大学大学院（アメリカ地域研究）修士課程を修了。現在は、執筆の傍ら拓殖大学日本文化研究所客員教授を務める。10年以上の日本滞在中、反日意識から日本人と日本文化理解へと転化する。

その過程をまとめた『スカートの風』がベストセラーとなり、'96年に『攘夷の韓国 開国の日本』で第5回山本七平賞を受賞する。

## 45周年記念事業

八代城築城400年PR看板設置

除幕式 平成20年12月20日(土)





中村代表幹事挨拶

## 45周年記念懇親会

1. 代表幹事挨拶 代表幹事 中村 重之  
目録贈呈 (八代市へ)
2. 来賓祝辞 国土交通副大臣 金子 恭之様  
八代市長 坂田 孝志様  
県知事代理八代地域振興局長  
安倍 康雄様  
熊本経済同友会 大久保太郎様
3. 乾 盃 八代青年会議所理事長  
一川 賢一様
4. 万歳三唱 45周年実行委員長 竹永 鴻



市長へ案内板の目録贈呈



金子国土交通省副大臣祝辞



坂田八代市長祝辞



蒲島知事代理  
安倍振興局長祝辞



大久保熊本経済  
同友会代表幹事祝辞



竹永45周年実行委員長の万歳三唱でおひらき



## 45周年記念ゴルフ大会(145回経友会)

期日：平成20年12月23日(火)

於：八代ゴルフ倶楽部

参加者	36名	out	in	グロス	HD	Net
優勝	吉岡 洋	46	42	88	16.8	71.2
準優勝	一川 誠一	43	50	93	20.4	72.6
中間賞	内田 晴也	54	49	103	24.0	79.0
B. B.	久保田健嗣	66	67	133	36.0	97.0
敢闘賞	澁上 玄輝	73	68	141	36.0	105.0

# 全日本柔道男子合宿支援のお礼とご報告

## 全日本柔道男子合宿八代期成会

実行委員長 一 川 誠 一

まずは足掛け3年にわたり全日本柔道男子合宿にご支援・ご協力いただきまして誠にありがとうございました。北京オリンピックに向けた八代での3回の強化合宿も無事終了し、決算を終え、先日期成会での実績報告会が済みましたので、お礼方々皆様方にご報告させていただきます。

平成18年の春、それまで長野県富士見台高原で開催されていた強化合宿を八代市に頂けるチャンスが巡ってきました。当時「何としてでも強化合宿を八代で成功させたい。選手団が満足してもらえるもてなしをしたい。そして、八代市を全国にアピールしたい。」という坂田市長の強い熱意の下、八代市柔道協会と経済三団体を中心となり、約20の団体を巻き込み全日本柔道男子合宿八代期成会が発足しました。同友会としても物産・観光PRのみならず将来における全国規模のスポーツ大会誘致の契機とするため精一杯頑張ってきました。

合宿参加選手・役員は3回で延べ407名、滞在期間延べ20日、柔道教室参加者延べ約1300名、観覧者数延べ約14,500人、支援金総額約1,330万円、市補助金からの支出も含め期成会からの総支出額約2,840万円、その他選手団の宿泊費、物産売上等を含めれば、内柴選手と石井選手の

二つの金メダルという成果とともに、お金に換えられない成果が数多く得られたのではないかと思います。

そしてこの合宿では、素晴らしい思い出とオリンピック金メダリストたちの汗が染み込んだ約90畳分の畳と約250万円の余剰金を残して頂きました。期成会は合宿の終了とともに終わるのではなく、「全国規模の大会など市内宿泊を伴うスポーツ大会を開催・誘致し、地域経済の活性化を図る」という当初の方針を形にし、解散することになります。

今回決議された内容は次の通りです。

### ・支援金残金の使途

- 1 柔道大会等の誘致のための柔道畳の整備費 100万円
- 2 全国規模のスポーツ大会開催のための運営経費 150万円

### ・管理運営

平成21年3月までに、期成会以外の組織を設置し、管理運営を移管する

最後に、この期成会による成果が今後の八代におけるスポーツイベントを通じた地域活性化に大いに役立つことを祈念しまして、ご報告とご支援のお礼とさせていただきます。

ありがとうございました。

## お知らせ

松岡スポーツ文化企画振興委員長

### 第3回 YATSUSHIRO CUP高校選抜バドミントン大会

期 日：平成21年2月7日(土)・8日(日)

主 催：YATSUSHIRO COPバドミントン実行委員会

会 場：男 子 八代東高校

女 子 八代市白百合学園高校

※開・閉会式は、大会スケジュールの都合で、実施致しません。

## 第13回

# 八代・天草架橋旗高校サッカー大会

実行委員長 岩 橋 恵 三

優勝－東福岡・準優勝－専大玉名  
三位－九国付・熊本商業

本大会を開催するにあたりましては、4回の実行委員会を行いました。

メンバーは高校サッカー部会、八代市サッカー協会、配泊をお願いする八代・日奈久の旅館組合そして八代経済開発同友会です。ここ数年このような協議を重ね運営を致しております。結果大きなトラブルやケガもなく終わる事が出来たかと考えます。

しかし、残念ながら鹿児島鹿屋高校が2日目以後を棄権するという事態が発生致しました。

理由は宿泊態度が再三の注意にもかかわらず改善されなかったとの事で、宿泊者の方から学校長へ連絡を取られその結果が「棄権して学校へ帰れ」との指示でした。この事を監督会議にて報告しますと監督、関係者の方々も真摯に受け止めて頂き生徒達にも嚴重注意を行うとの事でした。

又、今大会のテーマは対外的に広報する事でした。まず校長会にてポスター配布及び目的説明をさせて頂きました。又FMやつしろにてPR、各会場に立看板の設置、ポスター作製でした。

そして、本大会をメジャー大会にとの声もあります。

いずれにせよ、八代天草架橋建設早期実現への思いを切らす事のないよう、努めて参りますので、会員の皆様には今後共ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

第14回大会日決定 8月18(火) 19(水) 20(木)



# 足湯建設に関する近況報告

日奈久活性化委員会

委員長 伊藤 輝光

平成17年日奈久活性化の起爆剤、日奈久住民の一致団結のシンボルとしての足湯建設を計画し、日奈久の諸団体からのご賛同を頂き、翌18年1月に「足湯建設を求める請願書」を議会に提出し、2月議会委員会にて採択に至りました。

同年5月、日奈久地域の13団体と経済3団体で「日奈久温泉足湯建設促進期成会」（以下、期成会）を設立し、幹事会での承認後募金活動を開始致し、1年に亘る募金活動を行い、準備を進めてまいりました。

翌19年温泉センター改築計画が具体的になり、センター内に足湯が併設されることが分かり、期成会としての対応を協議し、翌20年1月には行政、設計事務所との意見交換会を開催し、より効果的な事業にする為、協議してまいりました。

同20年8月6日期成会総会を開催し、足湯建設促進事業の継続を決議し、改めて「日奈久温泉」活性化事業としての位置づけを確認しました。

これからの方向性として、期成会を中心に日奈久地域住民を巻き込んで具体的な準備を進めて行き、今進められている「日奈久温泉センター」の竣工に併せての完成を目指して参ります。

## 敬 寿 の 会

平成20年6月27日 於新大阪屋

還 曆 祝



飯田 哲氏  
昭和23年12月14日



伊藤 俊昭氏  
昭和23年10月5日



鹿島 正雄氏  
昭和23年12月6日

古 稀 祝



島 興人氏  
昭和14年6月16日

## 2009年度 八代経済開発同友会 役員

代表幹事：吉住 一郎		
直前代表幹事：中村 重之		
副代表幹事：鶴田 稔	神園喜八郎	松岡 隆志
会計幹事：小嶋日出章		
宍倉 涉		
専務理事：小笹 康博		
幹事：村岡 賢一	真木 清司	野尻 敬嗣
一川 誠一	伊藤 輝光	
委員長 長：和田 正彦	鋤馬把祥二	岩橋 恵一
山田 邦彦	上原 治	要名本義博
塚本慎一郎		

## 交替会員紹介



### 芝田 泰平

平成20年 4月  
東京海上日動火災保険(株)  
熊本支店八代支社  
八代市旭中央通18-3  
☎0965-35-3211



### 橋本 明海

平成20年 4月  
(株)肥後銀行八代支店  
八代市本町二丁目3-25  
☎0965-32-3171

## 新入会員紹介



### 鶴田 和彦

平成20年 7月  
(株)藤永組  
八代市萩原町一丁目11-6  
☎0965-33-3167



### 平野 和久

平成20年7月  
コスモ開発  
八代市長田町2995-1  
☎0965-34-5671

## 「八代経済開発同友会入会のご案内」

私たちと一緒に八代地域の経済浮揚を考えてみませんか。  
八代経済開発同友会は、経済人有志が集結し、自立した地域と経済の浮揚を目指しています。